

2005年ユネスコ/日本 アジア・太平洋地域環境教育研究セミナー
 持続可能な未来に向けた環境教育-教師のための環境教育実践プログラム-

プログラム

専門家会議	初日 (11月22日(火))	9:00 17:00
内容 : (視察) 視察場所：宮城教育大学附属小学校、名取市いぐねの学校、仙台市科学館 日本の環境教育・学習の取り組みの実際を視察し、現地において日本の環境学習の展開について議論を行う。議論の結果は、日本と海外との環境教育の比較検討に反映される。		

当日の行程表

9:00	ホテル JAL シティ仙台 出発	宿泊ホテル
9:30	宮城教育大学附属小学校着	小学校6年の総合的な学習の時間における学習を視察。担当教諭による説明と、参加者間の討論を予定(約60分)
10:45	宮城教育大学附属小学校出発	
11:30	名取市「いぐねの学校」着	いぐねの学校の担当者から、環境教育の取り組み内容を説明、参加者間の討論、昼食、施設見学(昼食含め約135分)
13:45	名取市「いぐねの学校」発	
14:40	仙台市科学館着	仙台市科学館指導主事より、科学館における小学校、中学校の総合学習に対する指導体制、活動の実際、科学館活用に関する講義と討論(約100分)
16:30	仙台市科学館発	
17:00	ホテル JAL シティ仙台 着	11月23日専門家会議の打合せ(約30分)
18:00		関係者解散

専門家会議	2日目 (11月23日(水))	9:00 17:20
<p>内容 : (議論)</p> <p>日本と海外の環境教育の現状を踏まえ、持続可能な開発のための10年において、各国での今後の環境教育の在り方と教育協力について話し合う。話題提供者として、小学校、中学校、大学。環境NPOの各関係者から、環境教育の取り組みについて紹介し、初日の視察結果を含め議論する。</p>		

当 日 の 行 程 表

9:00 – 9:10	開会の挨拶	宮城教育大学副学長 高橋 孝助
9:10 – 9:50	基調報告	<p><i>ESDにおける環境教育の展望</i></p> <p>飯田和郎 財団法人 ユネスコ・アジア文化センター総務理事</p>
9:50 – 11:00	海外参加者紹介 (自己紹介)	<p>Shyamala Krishna Mani (INDIA) Murari Lal (FIJI) Tengku Adnan Bin Tengku Awang (MALAYSIA) Zainal Abidin Bin Sanusi (MALAYSIA) Merle C. Tan (PHILIPPINES) Duong Thi Thuy Giang (VIETNAM) Ouk Nabann (CAMBODIA) Masudul Hoq Chowdhury (BANGLADESH) Sung JungHee (KOREA) 照日格図(CHINA) 包玉海(CHINA) 蘇根成(CHINA)</p>
11:00– 12:30	話題提供と議論 (その1)	<p>宮城教育大学附属環境教育実践研究センターの教材開発、フィールド実践、教師支援、学習支援の現状(環境教育支援プログラム)について話題提供し、学校からの要望への対応、教師教育支援の在り方、大学の役割等について話し合う。</p> <p>話題提供：大学における環境教育 宮城教育大学附属環境教育実践研究センター 鶴川義弘、溝田浩二</p>
12:30-13:20	昼食	

13:20-14:40	話題提供と議論 (その2)	<p>小学校における環境学習の取り組み(環境学習プログラム)の現状について話題提供し、各国の場合との比較を通して児童に対する環境教育の進め方、取り組み方について情報交換する。</p> <p>話題提供：小学校における環境教育 宮城教育大学附属小学校</p>
14:40-15:00	休憩	
15:00 -16:20	話題提供と議論 (その3)	<p>中学校の環境学習の取り組み(環境学習プログラム)について話題提供。中学生レベルの学習者に対する環境教育の取り組みの現状について、各国の場合と比較し、望ましい教育協力の在り方について話し合う。</p> <p>話題提供：中学校における環境教育 岩切中学校 菅澤英樹教諭</p>
16:20 -17:10	話題提供と議論 (その4)	<p>市民活動の立場から、環境学習の現状を紹介し、持続可能な開発の10年における環境学習の展開について話し合う。</p> <p>話題提供：市民活動と環境学習 こどもエコクラブ・サイカチ・ネイチャー・クラブ 「環境NPOによる環境学習の取り組み」</p>
17:10- 17:20	まとめ	<p>視点 教師のための環境教育実践プログラム 各国における環境教育実践の現状と課題 各国における今後の環境教育の方向性 各国において望まれる(望ましい)教育協力の在り方 組み立て方 国際的な会話促進 各国の共通認識に基づく、今後(ESD)の環境教育の進め方</p>
19:00-	レセプション	ホテル LAL シティ 仙台

一般公開討論会	3日目 (11月24日(木))	9:00 18:00
<p>内容 : 公開討論</p> <p>持続可能な未来に向けた環境教育をテーマとして、各国の中で実践されている環境教育を紹介し、学習プログラムをもとに、持続可能な開発のための教育の10年を踏まえた今後の環境教育協力のあり方などを考える。ここでは、基調報告と基調講演、引き続き、各国の事例報告を行い、参加者との意見交換を行う。</p>		

進 行

午前の部: 基調報告、基調講演

9:30 - 9:50	主催者挨拶	宮城教育大学学長 横須賀 薫
9:50 - 10:10	基調報告	持続可能な開発のための教育 (ESD) について 文部科学省国際統括官 井上正幸
10:10 - 10:30	基調報告	環境教育の推進について 文部科学省教育課程課視学官 井上示恩
10:30 - 10:40	休憩	
10:40 - 12:00	基調講演	持続可能な未来のための ESD の役割 Charles Hopkins UNESCO Chair, University of York, CANADA
12:00 - 12:45	昼食	

午後の部: 海外からの報告 (COUNTRY REPORT)

1. COUNTRY REPORTS (前半):

12:45 - 13:15	BANGLADESH	バングラデシュ初等教育における環境教育の実際 Masudul Hoq Chowdhury Joint director, Bangladesh Academy for Rural Development (BARD)
13:15 - 13:45	CAMBODIA	カンボジアにおける環境教育に関する報告 Ouk Nabann Deputy Director, Department of Environmental Education

		and Communication, Ministry of Environment
13:45 – 14:15	CHINA	演題：問い合わせ中 照日格図 内蒙古師範大学副学長
14:15 – 14:45	FIJI	フィジーにおける環境教育プログラムとその実践（仮題） Murari Lal Professor, University of the South Pacific
14:45 – 15:15	PHILIPPINES	地域社会のリソースを使った教育と学習 Merle C. Tan Director, National Institute for Science and Mathematics Education Development,, University of the Philippines
15:15 – 15:30	休憩	

2. COUNTRY REPORTS（後半）:

15:30 – 16:00	INDIA	持続可能な社会のための環境教育：インドの事例 Shyamala Krishna Mani Coordinator, Centre for Environment Education, National
16:00 – 16:30	KOREA	どう環境教育を高等教育における持続可能な開発のための教育に変えますか？ Sung JungHee Research Professor, Sustainable Development Research Center, Institute of East and West Studies, Yonsei University
16:30 – 17:00	MALAYSIA	演題：問い合わせ中 Tengku Adnan Bin Tengku Awang Assistant Director, Curriculum Development Centre, Ministry of Education, Malaysia
17:00 – 17:30	THAI	EE と ESD に関する教師研修：タイの事例から Athapol Anunthavorasakul Department of Curriculum, Instruction and Educational Technology, Faculty of Education Chulalongkorn University
17:30 – 18:00	VIETNAM	ハノイの普通教育課程における EE の統合化 Duong Thi Thuy Giang Trainer, Hanoi Retraining College for Teachers and Education Managers
18:00	閉会	

合同会議	4 日目 (11 月 25 日(金))	10:00 16:30
<p>内容 : (学校活性化プロポーザルモデル事業公開研究会 (気仙沼面瀬小学校)) 会場を宮城県気仙沼市面瀬小学校に移し、日米子ども地球フォーラム(インターネットテレビ会議)、授業ワークショップ、学年プロジェクトミーティング、および国際環境教育フォーラムに出席し、ESD における環境教育の国際的な相互協力の在り方について討論する。</p>		

当 日 の 行 程 表

7:00	ホテル JAL シティ仙台 出発	
10:00-10:45	テレビ会議の視察	米国カリスバーグ小学校と面瀬小学校とのテレビ会議を参観する
10:45-11:15	授業ワークショップ	面瀬小学校と気仙沼高等学校のワークショップに参加
11:45-12:15	学年プロジェクトミーティング	面瀬小学校1年～6年までの学年分科会に出席
12:15-13:15	昼食	
13:15-16:00	国際環境教育フォーラム	基調講演(木村 孟) パネルディスカッション、指定講演に出席
16:30	気仙沼市内ホテル	宿泊
UNESCO APEID セミナー 終了		

5 日目 11 月 26 日 (土) 仙台へ移動 仙台にて解散		
参加希望者	企画 エコツアー 11 月 26 日 (土)	渡り鳥と人のふるさと・TAJIRI 自然と農をテーマとした環境学習フィールドを尋ねるー